

Wing ういんぐ



Vol.30 **記念号** 2008年**秋**

《特集》 Wingが見つめた15年

目次

- ・第30号発行記念特集…………… 2～3
- ・父親の家庭参画講座「パパ、読んで!!」を開催…5
- ・事業の報告/キッズコーナー…………… 8
- ・三世代の男女共同参画…………… 4
- ・男女共同参画会議2008いわきを開催 …… 6～7

～個が光る社会を築く多様性～

男女共同参画社会作りに向けての全国会議
日時 平成20年6月26日(木) 13:00～
会場 日比谷公会堂(東京都千代田区)

第1部 講演と対談 《今後の日本社会と女性の活躍について》

内閣府特命担当大臣(少子化対策、男女共同参画)である上川陽子さんによる基調講演があり、あらゆる分野において女性の参画を拡げるための取組として「女性の参画加速プログラム」が策定(平成20年4月8日男女共同参画推進本部決定)されたことについての説明がありました。

この施策の基本的方向を「意識の改革」「仕事と生活の調和」「女性の能力開発・能力発揮に対する支援」と定め、平成22年度末までに実行すると述べました。また、これを推進するキャンペーンとして「カエル! ジャパン」*の展開を促しました。

続いて日産自動車(株)取締役社長カルロス・ゴーンさんの講演と東日本旅客鉄道(株)顧問江上節子さんとの対談がありました。女性の能力活用で大きな成果を収めている日産のゴーンさんからは、講演・対談の中で《一つの事に集中する男性の能力》と《広い視野で考えることのできる女性の能力》の違いを生かして、自国の価値観やニーズに合わせたダイバーシティ(多様性)が必要であるとの意見が出されました。

第2部 パネルディスカッション 《女性が支える地域の元気》

立教大学教授萩原なつ子さんをコーディネーターに、3名のパネリストを迎えて地域の活性化について意見が交わされました。NPO法人スペースふう理事長永井寛子さんは「私たちがやるっきゃない!」とイベント会場でのリユース食器レンタル業を起こし、地域の活性化・女性の自立を目指した全国展開への抱負を語り、稲取温泉観光協会事務局長渡邊法子さんは、住民の74%が観光業に従事していることを生かした地域再生を掲げ、住民主体の地域企業を設立し調整役を務めたいと述べ、日本政策投資銀行地域振興部参事役藻谷浩介さんは、経済・地域を活性化する鍵は男女共同参画であり、性別年齢を問わない人材力(特に女性の力)の結集が必要であると訴えました。

*「カエル! ジャパン」とは?

平成19年12月18日、「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)憲章」及び「仕事と生活の調和推進のための行動指針」が策定されました。平成20年度をいわば「仕事と生活の調和元年」と位置づけ、社会全体での取組を推進するため、「カエル! ジャパン」というキーワードの下、シンボルマーク・キャッチフレーズ=働く時間の使い方を「フリカエル」・今と未来、自分と周囲を「カンガエル」・仕事以外の大切な時間に「カエル」・働き方「カエル」と人生「カフル」?!=を作成し、集中キャンペーンを実施。企業、働く方、国・地方公共団体の各主体はもちろんのこと、仕事と生活の調和の実現した社会に向けての国民全体の取り組みです。[内閣府]